

地域間幹線路線バス「牟礼線」の運行見直しについて

〈協議事項〉

長電バス「牟礼線」の運行見直しを実施するもの

見直しの理由、内容

【運行に対する公的支援】

複数の自治体を結び、一定の運行本数と利用者のあるバス路線は、地域間交通ネットワークを形成する地域間幹線系統として、国、県が運行経費を支援しています。

長電バスが運行している「牟礼線」は、長野市と飯綱町を旧北国街道経由で結ぶ路線で、国、県のほか、両市町も運行経費を支援しています。

【利用状況とこれまでの運行見直し】

長野市街地の区間については一定の利用があるものの、郊外から飯綱町にかけて利用が減少し、特に市町を跨ぐ利用は少なくなっています。

このため、令和5年10月には土休日の運行本数を減便し、本年1月21日からは日曜日を運休とするなど、運行の見直しを行ってまいりました。

【今回の運行見直し】

慢性的な乗務員不足が継続する中で、民間事業者として利益を生み出す路線に運転士を充当する必要があるとあり、地域間幹線系統の支援を受けることができる範囲内で改めて運行を見直し、平日の減便、土曜日・祝日及び日曜日の運行廃止を実施するものです。

併せて、若槻地区田中～吉地籍の旧県道区間について、道路が狭隘で対向車との行き違いに時間を要しており、接触事故等のおそれによる運転士の精神的負担も大きく、実際に年間数件の苦情や事故が発生していることから、朝の上り1便を除いて運行経路を現県道であるバイパス経由とし、バイパス上に代替停留所を2か所設置するものです。

なお、経路変更区間に存在する8か所の停留所（田中南～宇佐美沢）については、1日当たりの乗降者数がいずれも1人を下回っています。

また、飯綱町の旧県道区間（見晴～三本松）については、長野市の旧県道区間と比較して延長が短く、事故の発生頻度も長野市の旧県道区間の3分の1程度と低いため、運行経路の変更は行いません。

【今後について】

長野市と飯綱町の間には「しなの鉄道北しなの線」が運行されており、公共交通機関を利用した市町を跨ぐ移動は、鉄道利用が中心となっています。

「牟礼線」について、両市町内で完結する利用は一定の需要がありますが、市町を跨ぐ移動手段は別途存在することから、令和7年10月を目途として、路線廃止を含めた抜本的な見直しを検討しており、新たな運行形態等について、長野市、飯綱町と協議してまいります。

【運行本数の見直し】

| | 平日 | 土曜日・祝日 | 日曜日 |
|-----------|---------|--------|-------|
| 長野駅～飯綱営業所 | 20 ⇒ 16 | 2 ⇒ 0 | 2 ⇒ 0 |
| 長野駅～吉村 | 2 ⇒ 1 | 1 ⇒ 0 | 1 ⇒ 0 |
| 長野駅～中央公園 | 0 ⇒ 1 | 1 ⇒ 0 | 1 ⇒ 0 |
| 見晴～飯綱営業所 | 4 ⇒ 3 | 0 ⇒ 0 | 0 ⇒ 0 |
| 見晴～飯綱病院 | 1 ⇒ 1 | 0 ⇒ 0 | 0 ⇒ 0 |

※上下運行本数の合計値

※日曜日については令和6年1月21日から運休中

【路線図・運行経路変更区間】

別添「資料1-2」のとおり

【見直し後の運行時刻表】

別添「資料1-3」のとおり

見直しの実施日

令和6年12月1日（日）

周知方法

バス車内、停留所への掲示等により周知を図ります